

暮らしのなかに

一人一人が少し工夫するだけで、誰かの優しい暮らしにつながります。できることから一つずつ、暮らしのなかに取り入れてみませんか。

富士山を守り未来につなぐ

エス ディー ジー ス

富士山SDGs

富士宮市に住む私たちが、これからもずっとこのまちで住み続けるためにみんなで取り組む目標です。できることから一つずつ、一人一人が意識して行動しましょう。

ここでは富士宮市の取り組みを紹介します。



16 平和と公正を
すべての人に



誰もが安全で安心して暮らせるよう、犯罪のないまちをつくる。

子どもを犯罪から守るため、市では令和4年度から毎月20日を「子ども安全の日」に制定しました。

登下校中の見守り活動や、絵本の読み聞かせなどで子どもの防犯意識を高めたり、防犯カメラを公共施設に設置するなど、安全で安心して生活できる環境づくりをしています。

富士宮市のSDGsへの取り組みを市公式ウェブサイトで紹介しています。

HP [トップページ](#)>[富士宮市について](#)>[市政の運営](#)
>[推進事業](#)>[地方創生に向けたSDGs](#)



新聞配達員による見守り活動



中野新聞舗、(株)ツタウエル、鈴木新聞店の3社が、市と協定を結び、夕刊配達の際に、配達員が下校する子どもの見守りをしています。

配達員が、子どもの様子に異変を感じたり、通学路に危険物を発見したときは、警察や市の関係機関と連携して子どもの安全を守ります。